



小松市立学校PTA連合会
会長 岡田 直樹

『心のあり方』見つめる、考える、そして行動する

皆様にはPTA活動にご支援とご協力、そしてご理解を賜り心から感謝申し上げます。近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わる中、思いもしない事件が多くなってきているように感じております。子どもを抱える親としても「躰と教育」について、今一度考えなければならぬ良い機会として現在捉えております。子どもたちは1日の大半を学校で過ごします。学校では「教育」について、先生方が子どもたちに対してしっかりと学問を教えていただいております。我々親は子どもたちに「躰」についてどのように教えており、取り組みをしているのでしょうか。

一般常識という言葉があります。常識とは価値観、知識、判断力のことであり、客観的に見て当たり前と思われる行為のことを言い、その反対が非常識になります。捉え方により常識と非常識は紙一重であり、非常識と一般的に言われることも考え方、価値観で独自性があると言われる。そこには『心のあり方』一つで、見え方や行動が変わってきます。「見つめて、考えて、行動する」ということは、心に余裕を持つことに繋がっていくと確信をしています。親が実践をし、子どもに伝えることが本来の「躰」ではないのでしょうか。孔子の言葉を残した論語に、「子日(しのたま)わく、君子(くんし)は和して同ぜず、小人(しょうじん)は同じて和せず」とあります。君子(人格者)は他人と心が一致するが、うわべだけ同調することはしない。小人(人格を備えていない人)はうわべだけ同調するが、心から一致することはないと孔子は言っています。私たちは日常の人付き合いで本心では納得していないのに、うわべだけ相手に合わせるがあります。間違いを間違いだよと言えないこと、言わないこともあると思います。日本人ならではの美意識的なことと言えかもしれませんが、後である時言っておけばならないよう、考え方をしっかりと養わなければならないと考えます。そのことが、子どもたちの「躰」としても必要ですし、親も共に学んでいく必要があるのではないのでしょうか。

『心のあり方』見つめる、考える、そして行動するという時間を少しでも持っていただき、子どもたちの未来へと繋がる環境への一助になればと思います。

すべては子どもたちのためにを合言葉に、これからも活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成27年度 市P連組織

○ 委員長 ○ 副委員長 ● 校長

顧問
鹿田 稔夫 齋藤 浩(向本折小)
会長
岡田 直樹(大丸小)
監事
大久保雅春(御幸中) 道場 幹雄(串小)
会計
丸山佳世子(日末小)
石川県PTA連合会 副会長
東 友起子(荒屋小)

副会長 丸山 直輝 (栗津小)	副会長 徳本 康志 (日末小)	副会長 吉田 淳也 (月津小)	副会長 本谷 徹 (南郎中)	副会長 番田 由佳(月津小) 竹島 清美(芦城中)	副会長 漆原 慎 (第一小)
総務委員会	広報委員会	豊かな心を育む委員会	新世代委員会	母親委員会	特別委員会
○ 野村 林 佐久間信孝(蓮代寺小) ○ 奥 上田 昌寛(苗代小) ○ 野村 佳史 調 那谷 浩明 ○ 貴至 中海 今江 小	○ 出淵 堀口 松原 水野 ○ 中井 順一(木場小) 泰孝 順一(日末小) 矢丸 小 克俊 東陵小	○ 城下 合田 田中 浅井 ○ 二木 信也 哲也 大悟 符津小 ○ 邦夫 向本折小 信也 雅松小	○ 柿田陽一 将史 高野 秀典 ○ 大井 岩戸 西田 高井 ○ 丸内 丸内 丸内 丸内 丸内 丸内 ○ 丸内 丸内 丸内 丸内 丸内 丸内	○ 嶋多 橋本 濱本明希子(安宅中) ○ 直子 智子 天丸 小 ○ 直子 直子 直子 直子 直子 直子	○ 園井 西野 丸山 丸山 丸山 丸山 ○ 西野 西野 西野 西野 西野 西野 ○ 西野 西野 西野 西野 西野 西野
辻野 谷保 高来 木下 功安 博己(渡佐谷小) 浩明 東 友起子(荒屋小)	山下 律子(安宅小) ● 神田 恵子 (安宅小学校校長)	橘 丸次 澤田 慎也(安宅小) ○ 丸次 丸次 丸次 丸次 丸次 丸次 ○ 丸次 丸次 丸次 丸次 丸次 丸次	大間 谷口 中田 石田 ○ 大間 谷口 中田 石田 ○ 大間 谷口 中田 石田	○ 嶋多 橋本 濱本明希子(安宅中) ○ 直子 智子 天丸 小 ○ 直子 直子 直子 直子 直子 直子	○ 園井 西野 丸山 丸山 丸山 丸山 ○ 西野 西野 西野 西野 西野 西野 ○ 西野 西野 西野 西野 西野 西野

・・・石川県PTA地区別研究指定発表会・・・ 第58回 小松市PTA研究大会

日時：平成27年8月2日(日) 場所：こまつドーム集会室



今年の研究発表校は、安宅中PTAと蓮代寺小育友会及び符津小育友会の発表となり、いずれも素晴らしい内容でした。特に安宅中PTAは東海北陸ブロックの発表指定校であり、発表指定校らしい素晴らしい内容でした。

講演会では「継続は力なり」～意思のあるところに道ができる～と題しまして、元オリンピック競歩種目3大会出場を果たした、喜多真裕美氏による競歩の体験談を中心とした講演をいただきました。



講師：喜多真裕美氏

粟津温泉 喜多八若女将
競歩アドバイザー・陸上競技審判員

小松市教育委員会表彰状



齋藤 浩様・深田 博智様
田中 堂子様

小松市立学校PTA連合会会長表彰



齋藤 浩様・木谷 幸一様・松山 仙治様・興津 幸子様
本谷 重穂様・串町郷土芸能保存会様
日末小わが町防犯隊様・小松市南部地区青少年健全育成協議会様

安宅中学校

研究大会を終えて

安宅中学校PTA 会長 平田 裕之

第58回小松市PTA研究大会が開催されるにあたり、安宅中学校PTAでは「小学校・地域との連携を生かして」をテーマに、活動報告、研究発表を行いました。

私自身、平成25年・26年と研究活動の経験を積んでいないため会長を引き受けた時点で「大変な事になってしまった。」と思いました。4月5月の間に何か活動を起こさなければと、気持ちばかりが焦ってしまい、26年度の会長に相談したところ「大丈夫です。活動報告はほぼまとめてあります。」と聞き安心したところが実態の姿です。そして5月6月と26年度の役員の方々が、在校生がいないのにもかかわらず、夜遅くまで最終のまとめ、シナリオ作りに尽力をいただきました。私自身発表する立場の人間が何にもわからないではいけないと思い、安宅小学校の会長さんにお願ひし、中学校の総務委員、小学校の役員会、救命訓練などにも参加させて頂きました。緊張しながら参加したのですが、小学校の役員の方々を見たら顔なじみの方ばかりで安心しました。

そして一番のメインテーマの「ネット利用のマナー」について両校で話し合いをしました。子どもたちの間で、いじめ、殺人、自殺とこの時代の嫌な事件ばかり起こっていますが、「他人ごとではなく近くで起こりうる可能性がある」と最初に役員に伝えました。携帯がなくとも、どこの家庭にでもあるゲーム機や音楽プレーヤーで、通信ができる事を知らない保護者も沢山いる事もわかり、その時点で初めて保護者の方たちが真剣にネット利用について考えるようになった感じがしました。私自身、携帯を小学生、中学生でもフィルタリングをしっかり設定し、持たせて良いと考えております。緊急の連絡、そして最近の機能にはGPSがついており大変安心できる機能だと思います。ただ便利なのですが、使い方を間違えてしまいますと、不幸な事件に繋がってしまいます。そこで中学生自身が生徒会主体でルールを作り、やがて保護者も協力し、親子でルールを作ることになりました。生徒たちはSNS(ソーシャルネット・サービス)の飲み込みは早いのですが、大人たちはなかなか簡単にはいきません。恥を忍んで子どもから教わり、その中でコミュニケーションをとるのもよいのではないのでしょうか。

最後になりますが、この活動報告、研究発表を行うにあたり、小学校PTA、地域の方々に沢山の協力を頂いたことに感謝いたします。ありがとうございました。



符津小学校

第58回小松市PTA研究大会を終えて 符津小学校育友会 会長 田中 大悟

私達符津小学校育友会は、「メディアの時間を減らそう」という研究テーマを3年前の育友会より受け継ぎ、受け継いだ当初はできることであれば、「お受けしたくない」又は「簡単な資料作成で終わりたい・・・」、「学校側に何かと情報があるのだから、誰かが何とかしてくれるだろう・・・」と安易に考えていたことを思い出します。しかし、発表日が近づくも、発表資料完成への工程がなかなか見えず、役員会で研究発表チームを慌てて構成し、気が付けば毎晩のように打ち合わせを強いられる状況での資料作成となってしまいました。そんな大変な状況ではありましたが、発表を終え振り返ってみれば、その大変さに代わり、感じ得たものが、チーム符津の財産になりうるのではないかと、今はそう感じております。

研究の成果について振り返ると、育友会の活動として学校と連携し、クラス毎に「自分の生活を振り返り、生活のめあてを立てる活動」を実施し、児童から「呼びかけ」をすることで、メディアの時間や就寝時刻に気をつける児童が、一時的ではありますが増えたことがあげられます。また、めあてを家庭でチェックすることで、家庭との連携を図ることにもなり地域の方々にも取り組みを発信、そして実践してもらうことも出来ました。研究の課題については、現段階ではその成果は瞬間値・一過過点であり、今後も形骸化する事無く、恒久的な取り組みが必要だと考えられます。その努力と達成感、苦・楽両方を育友会全役員で、更には学校、地域の方々全体で共感共鳴出来た時始めて、今年度のスローガンでもある「地域に広げる笑顔の輪」が実現できると感じました。

符津小学校育友会は、地域の振興と活性化の重責を担う組織として、これからも地域の先頭に立ち活動していきたいと思っております。最後になりますが、多くの皆様からのご支援、ご協力をいただき、無事発表を終えることが出来たことに感謝いたします。ありがとうございました。



蓮代寺小学校

研究大会を終えて 蓮代寺小学校育友会 会長 佐久間信孝

8月2日(日)に小松ドームにて、蓮代寺町小学校では『家庭読書の向上をめざして』～家庭での親子の取り組み～をテーマに研究発表を行いました。

私自身育友会のこと何も分からないまま会長という役につき、それと同時に今年研究発表に当たるということを知られましたが、その時点では漠然とした感じで過ごしていました。研究発表が近づくに連れて焦りも出始めましたが、土台は前年度役員の方が作成していただいていたこともあり、今の役員の方と供に準備を着々と進めてきました。発表当日も緊張の中いざ発表というときにまさかの機械トラブルが(笑)そのせいもあってか役員全員の緊張もとれ、ある意味開き直れたように感じ、忘れられない1日となりました。

今回の発表とは対象に現在ネットが大変身近になっており、何でも調べ見ることができますが、それでは心を豊かにすることは出来ません。本を手に取り、自分の目を使い読むことによって心を豊かにし、表現力豊かな子に育っていくのではないのでしょうか。

最後になりますが、この発表を無事に終える事が出来たのも役員・先生・保護者の協力があつてこそだと思っています。また今回の研究発表の場を与えてくださった関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。



第1回 母親委員会

日時：平成27年5月21日(木) 午後7時より

場所：ホテル サンルート小松



母親委員会委員長
嶋多 直子

母親委員会では、各小中学校の母親代表が4つのグループに分かれ、研修を通して子育てや子どもとの関わり方について学んでいます。新しい出会いの中、様々な意見に触れ、思いや考えを分かち合うことで、つい見落とししたり、忘れてしまいがちな「大切なこと」に改めて気付くことができるのではないかと思います。その「気づき」を、少しでも皆さんにお伝えすることができるよう報告書を作成していますので、ぜひご覧になり、ご家族のみなさんとも話し合ってみてください。分かっていたこと、当たり前だと思っていたことが、きっと別の輝きを持って見えてくると思います。子育て＝親育て。子どもと一緒に私たちも一歩ずつ成長していきたいですね。

「ありがとう」が人生を作る



小松市立木場小学校
校長 森中千枝子

最近、講演会で心にしみる言葉を聞く機会を得ました。一つ目は、「思いは言葉になり、言葉は行動になる。行動は習慣になり、習慣は性格になる。そして、性格は運命となる。」というマザーテレサの言葉です。二つ目は、母親委員会でお聞きした多賀先生の「ありがとうを言える子が言えない子かで、その子の人生は全く違ったものになる。」という言葉です。

わが子によい人生をと願わない親はいません。しかし、その願いをかなえる手立てが、実は意外とシンプルなものであることに気付かされます。まず、自分から、笑顔で温かい言葉かけをすることで、あなたの周りに「ありがとう」が伝染し、めぐりめぐってあなたの子どもは「ありがとう」を言える子に育ち、その子の人生がよい方向に変わっていく。頭では分かっても、子育ての中で一貫して実行することは、なかなかです。

子どもたちの豊かな人生のために、家庭で、学校で、「ありがとう」を周りに伝染させるよう、と一緒に、まず自分から始めましょう。

読んでみまっし!

『子どもへのまなざし』

子どもたちの心理が、まるで子どもたちが書いたかのように、優しい言葉で丁寧に書かれています。かなり厚い本なのですが、お母さん方への講演を筆記したもので、非常に読みやすいです。(多賀先生談)

著者：佐々木正美／出版社：福音館書店



母親委員会広報担当

広報リーダー 嶋田真紀子(今江小)
久司亜紀子(能美小)
軽海 由里(矢田野小)
竹田 万里(中海小)

今年度は、私たちが担当させていただきます。
よろしくお祈りします。



第2回 母親委員会

日時：平成27年6月18日(木) 午後7時より 場所：第一地区コミュニティセンター



演題 『子どもたちの心の中にある
“甘える壺”を満たすために』

講師 多賀クリニック 院長 多賀 千之 先生

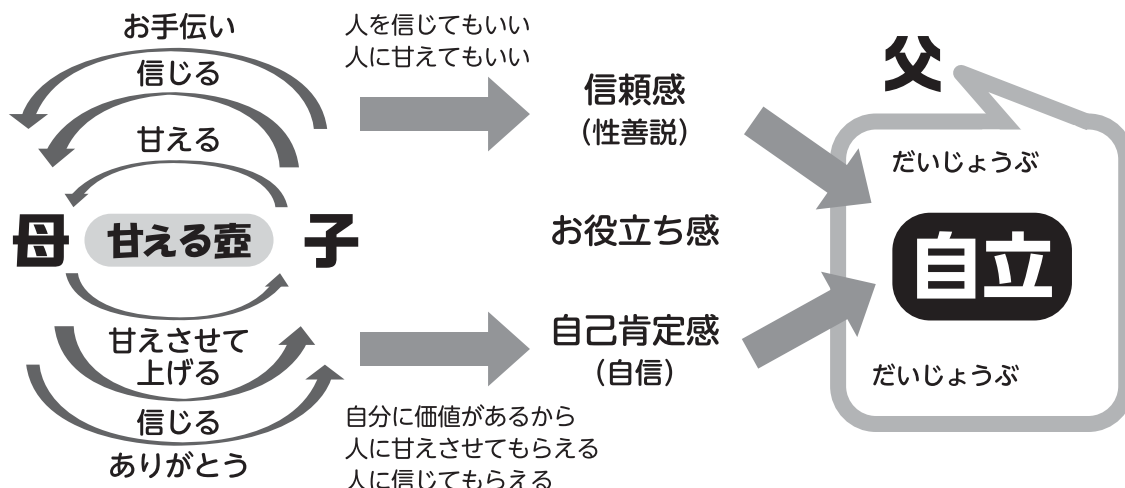
《プロフィール》

昭和56年に三重大学医学部を卒業後、小児科医としていくつかの病院に勤務され、平成26年に白山市で多賀クリニックを開業。「分かりやすい説明・質問できる雰囲気」をモットーに診療されています。50歳を過ぎた頃から、これまでのご経験を生かし、「子育て」に関する講演会を積極的に行っておられます。

《子どもたちの心の中の“甘える壺”を満たすために》

注意点

- * “甘える壺”をいっぱいにしていけば、子どもたちは自然と自立していく。
- * “甘える壺”があふれていても、何ら支障なし。
- * “甘える壺”はお母さんの工夫とお父さんの協力次第。疲れて中断するので、努力はしない。
- * “甘える壺”の大人版は、“話を聴く”こと。
- * “甘える壺”は一生続く。



～ 多賀先生からのメッセージ ～

日本の未来を創るのは子どもたちです。子どもたちは心豊かな子ども時代を過ごすことができれば、きっと心豊かな未来を創るでしょう。子どもたちに心豊かな子ども時代を提供するのが、お母さんとお父さんの親としての役割だと思います。





第71回日本PTA
東海北陸ブロック研究大会

石川県・小松大会

大会日程

1日目
分科会

10月9日 金

■市内6会場

12:30	13:30	16:30
受付	分科会	

2日目
全体会

10月10日 土

■こまつドーム

8:30	9:00	9:30	10:30	11:50	12:10
受付	オープニング	開会式	記念講演	閉会式	

参加者 東海北陸6県1市 PTA関係者約2,500名

参加費 3,500円

全体会会場



こまつドーム

〒923-0344 石川県小松市林町ほ5番
TEL.0761-43-1677 FAX.0761-43-4466

分科会内容

第1分科会 家庭教育 A

こまつ芸術劇場 うらら



〒923-0921 小松市土居原町710番地
TEL.0761-20-5500
FAX.0761-24-2481

見直そう！家庭の力 ～親子で決めて、親子で実践～

■研究発表 PTA 岐阜県輪之内町立輪之内中学校 PTA

親子で共に学ぶ家庭教育 ～地域の題材や特色を活かして～

■研究発表 PTA 石川県野々市市立御園小学校 PTA

■コーディネーター 石野 一樹(元石川県PTA連合会会長)

■パネリスト 輪之内中学校 PTA代表(発表校)

御園小学校 PTA代表(発表校)

西出 稔(元小松市立学校PTA連合会会長)

■助言者 清水由美子(石川県教育委員会・生涯学習課 課長補佐)

■分科会テーマ

実践発表とパネルディスカッション

親子がともに学び合える家庭環境を
どう築いていくか

第2分科会 家庭教育 B

こまつドーム集会所



〒923-0344 小松市林町ほ5番
TEL.0761-43-1677
FAX.0761-43-4466

伝統から生まれる 親子・学校・地域の輪

■研究発表 PTA 三重県伊勢市立厚生小学校 PTA

小学校と中学校をつなぐ ～校区小中 PTA 育友会の連携～

■研究発表 PTA 石川県金沢市立兼六中学校 PTA

■コーディネーター 中村 祐子(元石川県PTA連合会副会長)

■パネリスト 厚生小学校 PTA代表(発表校)

兼六中学校 PTA代表(発表校)

宮下真由美(前石川県PTA連合会副会長)

■助言者 網本 弘志(石川県教育委員会・生涯学習課 課長補佐)

■分科会テーマ

実践発表とパネルディスカッション

地域で学ぶことの大切さを家庭で
どう伝えていくか

第3分科会 学校支援 A

サイエンスヒルズ こまつ



〒923-8610 小松市こまつ杜2番地
TEL.0761-22-8610
FAX.0761-23-8686

生徒の学ぶ環境を向上させるために

■研究発表 PTA 富山県富山市立水橋中学校育友会

地域で育てるなかむらっ子 ～家庭・学校・地域の絆～

■研究発表 PTA 石川県金沢市立中村町小学校育友会

■コーディネーター 大島 淳光(前石川県PTA連合会会長)

■パネリスト 水橋中学校育友会代表(発表校)

中村町小学校育友会代表(発表校)

鹿田 稔夫(元小松市立学校PTA連合会会長)

■助言者 才鷹 一博(石川県教育委員会・学校指導課 担当課長)

■分科会テーマ

実践発表とパネルディスカッション

子どもが学び成長する環境づくりの
ため、どのように学校を支えていけ
ばよいか



開催間近!

●Facebook
www.facebook.com/
thkcpta



「智・仁・勇」
の心から始まる未来への物語



オープニング



「こまつ勤進帳連中」

大会当日は、小松市立御幸中学校生徒による長唄「勤進帳」より、延年の舞をさせていただきます。義経一行と知った富樫でしたが、自らの命を引き換えに、それと知って関を通します。それに恩義を感じた弁慶は富樫のもてなしに応え、遊宴の歌舞を披露するのです。その一節をお聞き頂き、弁慶の「智」・富樫の「仁」・義経の「勇」。三者三役の男の面目が織り成す感動の物語は、800年ものときを超えて、参加者の心に響いてきます。

記念講演講師

演題：「宇宙、人、夢をつなぐ 未来を担う子どもたちのために」

元宇宙飛行士 **山崎 直子** (やまざき なおこ)

宇宙政策委員会委員・女子美術大学客員教授

略歴:

- 1970年 千葉県松戸市 生まれ
松戸市立相模台小学校、松戸市立第一中学校卒業
 - 1989年3月 お茶の水女子大学附属高等学校卒業
 - 1993年3月 東京大学工学部航空学科卒業
 - 1994年-1995年 ローター国際親善奨学生として米国メリーランド大学留学
 - 1996年3月 東京大学大学院航空宇宙工学専攻 修士課程修了
 - 4月 旧宇宙開発事業団(現・宇宙航空研究開発機構、JAXA)に入社
 - 2010年4月 スペースシャトル・ディスカバリー号にミッションスペシャリストとして搭乗し、国際宇宙ステーション (ISS) 組み立てミッション STS-131 (19A) に従事
 - 2010年7月 千葉県民栄誉賞受賞
 - 8月 ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 特別賞 受賞
 - 10月 金沢市キコ山天体観測センター名誉館長就任
 - 2011年8月 JAXA退職
 - 9月 全国珠算教育連盟名誉会長
- 日本宇宙少年団 (YAC) アドバイザー就任中
中学・高等学校教員免許 (数学) 所有



著書:

- ◆「何とかなるさ」(サンマーク出版)
- ◆「瑠璃色の星」(世界文化社)
- ◆「夢をつなぐ」(角川出版)
(第57回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書・中学校の部)
- ◆「宇宙飛行士になる勉強法」
(中央公論新社)

分科会内容

第4分科会 学校支援 B

粟津温泉 辻のや花乃庄



〒923-0332 小松市粟津温泉
TEL.0761-65-1311
FAX.0761-65-1313

地域や家庭と連携して教育支援する PTA活動 ~あたたかい気もちや絆で~

■研究発表 PTA 愛知県犬山市立犬山南小学校 PTA

『智仁勇』地域で支える学校 ~小学校、地域との連携を生かして~

■研究発表 PTA 石川県小松市立安宅中学校 PTA

- コーディネーター 大根 清美(元石川県PTA連合会副会長)
- パネリスト 犬山南小学校 PTA代表(発表校)
安宅中学校 PTA代表(発表校)
谷内 正樹(かほく市宇ノ気中学校長)
- 助言者 波佐尾雅人(小松市教育委員会・学校教育課 課長)

■分科会テーマ
実践発表とパネルディスカッション
PTAが地域とともに取り組むよりよい学校支援のあり方とは

第5分科会 地域連携 A

小松市民センター



〒923-0001 小松市大島町丙42番地3
TEL.0761-24-6101
FAX.0761-23-5811

地域とPTA活動をつなげることでどのようなことがうまれるのだろうか

~「花はす早朝マラソン大会」でのボランティア活動を通して~

■研究発表 PTA 福井県南条郡南条中学校 PTA

心豊かに逞しく生きる西部っ子を育てる PTA活動 ~ふるさとに根ざした 豊かな活動を通して~

■研究発表 PTA 石川県珠洲市立西部小学校 PTA

- コーディネーター 澤間 幸世(元石川県PTA連合会副会長)
- パネリスト 南条中学校 PTA代表(発表校)
西部小学校 PTA代表(発表校)
木原 浩二(前小松市立向本折小学校長)
- 助言者 清水 茂(石川県教育委員会・生涯学習課 課参事)

■分科会テーマ
実践発表とパネルディスカッション
PTAが地域の方々とともに取り組む子育てのあり方とは

第6分科会 地域連携 B

ホテルサンルート小松



〒923-0868 小松市日の出町4-93
TEL.0761-24-6123
FAX.0761-24-6129

つなぐ つながる 防災の輪

■研究発表 PTA 名古屋市長笠寺小学校 PTA

深めよう!! 3つの連携 ~未来に向かって地域と育む新たな絆~

■研究発表 PTA 石川県中能登町立中能登中学校 PTA

- コーディネーター 水上 猛之(前石川県PTA連合会副会長)
- パネリスト 笠寺小学校 PTA代表(発表校)
中能登中学校 PTA代表(発表校)
大旬わか子(能登町立小木中学校長)
- 助言者 浅野 秀重(金沢大学地域連携推進センター教授)

■分科会テーマ
実践発表とパネルディスカッション
PTAが地域と連携するためには、どんな工夫が必要か



親子ふれあい体験バスツアー

福井県勝山市にて化石発掘体験と機織り体験

豊かな心を育む委員会 委員長 二木 邦夫

今年は、福井県勝山市の福井県立恐竜博物館での化石発掘体験と、はたや記念館ゆめおれ勝山での機織り体験等の企画で、小学校3年生から6年生までの親子を対象に募集したところ、18組40名の参加がありました。

当日は朝から天気も良く、元気よく集まってくる子どもたちを見て、わたしも楽しい気分になりました。

始めに、はたや記念館ゆめおれ勝山に行きました。勝山市は、古くから繊維業が盛んで、ゆめおれ勝山も国の近代化産業遺産に認定されているそうです。初めて知りました…。ここでは、蚕が作った本物のまゆを使った、まゆ玉クラフトと、機織り機を使ってオリジナルのコースターを作りました。小さな子には難しい作業もありましたが、親子で協力しながら素敵な作品を完成させることが出来ました。

お昼ご飯は、スキージャム勝山内のホテルハーヴェストで、お楽しみのバイキング。さすが食べ盛りの子もたち。お皿いっぱい盛り付けた料理をお腹いっぱい食べました。

午後からは、福井県立恐竜博物館に移動し大迫力の恐竜化石を見学したあと、化石発掘体験を行いました。ゴーグルを着けハンマーで石を割って、植物などたくさんの種類の化石を見つけました。新種の化石を発見！…することはできませんでしたが、発掘した多くの化石は、子どもたちの宝物になったと思います。

この親子ふれあい体験事業は、親子の絆を深めることを目的に毎年実施しています。普段忙しくてなかなか親子でゆっくり過ごすことが出来ない時代ですが、親子で協力しながら作業をしたり、楽しそうに会話をする姿が見られ、事業の目的を果たすことが出来たと実感しています。

最後にこの事業を行うにあたり、参加して頂いた皆さん、関係者の方々、支えてくれた委員会メンバーの皆さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。



参加した保護者の感想

- 親子3人で参加して、天気もよく、色々体験できてうれしく思います。TVでやっていた福井の恐竜博物館も楽しめました。恐竜エリアを4回も回っていた娘たちです。
- 子どもと二人で一日を過ごすことができたことは、大変意味のあることでした。子どもの本音や考えていることがわかる大事な時間でした。こういう時間が少しでも増えたいと思いました。
- 機織り体験もまゆ玉クラフトも楽しくできました。化石発掘はあまりに夢中になりあっという間に過ぎました。
- 夏休みに、親子で参加できて楽しかったです。小学生なので、時間に余裕のあるスケジュールで大変良かったと思います。子どもの作っている姿、会話をしみながら楽しい時間を過ごせました。
- すごく楽しかったです。去年も参加させていただきましたが、毎回すごく楽しみな夏休みの企画なのでまた来年参加したいです。ありがとうございました。
- 今日一日、長男とたっぷり交流することができました。とても楽しかったです。内容が息子の興味のあることばかりで、私自身も息子と同様に楽しみました。
- 一日たっぷり活動ができ、子どもと十分に関わることができました。夏休みならではの体験で、夏休み最後に良い思い出作りができました。今年のはじめての参加でしたが、こういう機会がないとなかなか親子で出かけることがないので、とても貴重な一日となりました。
- 久しぶりに自分で運転をせずにゆっくりとバスに乗りながら子どもたちと色々体験できた事が良い思い出になりました。

参加した子どもたちの感想

- 機織り体験がとても楽しかったです。でも端のところがこぼこしてしまいむずかしかったです。まゆ玉はちょっとむずかしくてお父さんにいっぱい手伝ってもらいました。
- 化石発掘が一番楽しかったです。難しかったけど見つけた時はうれしかったです。
- いつも体験できない、機織り体験やまゆ玉作りなどをできて本当に楽しかったです。葉っぱや植物の化石を発見できてとっても楽しかったです。来年も親子でふれあいバスツアーで色々な体験をしたいです。
- 初めての体験がいっぱいできたし良かったです。また、こんなバスツアーがあれば参加したいです。
- コースター作りが楽しかったです。まゆ玉作りが可愛くて良かった。またやりたいです。
- 化石発掘は、石を割るのが大変だったけど、見つけられて良かったです。
- カエルを作るときにポンドがくっつかなくてむずかしかったです。

編集後記

市P連の広報委員長という大役を頂き、初めての広報誌発行となりました。はじめての委員長として、広報誌の段取りなどで委員の皆さんや各委員会の皆さんには、不手際等でご迷惑おかけしたと思います。この場をお借りし、お礼申し上げます。またご協力頂きました関係各所の皆様にも合わせてお礼申し上げます。

広報委員長 中井 泰孝 (犬丸小)

スタッフ

徳本 康志 (日末小)・出渕 順一 (日末小)
堀口 祥一 (木場小)・松原 裕樹 (串小)
水野 克俊 (東陵小)・山下 律子 (安宅小)
神田 恵子 (矢田野小校長)